



としょだより5月号



薩摩川内市立手打小学校・令和2年5月15日発行

楽しいゴールデンウィークを過ごせましたか？

ゆっくり読書をする事ができましたか？何冊くらい読めたかな？

今年度は、貸出数50冊を達成した人の貸出用バーコードの名前欄に「たくさん読んだねマーク」をつけるようにしています。

今、何冊読んだかな？目標冊数まであと何冊だろう？と目印にしてくださいね。

なんで貸出目標冊数を大切にしているのかな？

それは、本を読んだ数はみなさんの知識の貯金だからです。お金と一緒に大切な財産です。

長い文章が苦手な人は、まずは絵本や地図・ずかんなどを読んでみてくださいね。きっとあなたの中に知識の貯金ができ、いつか使うときが来ますよ♪



これが「たくさん読んだねマーク」です☆



4月の平均貸出総数は、

1・2年生は、91冊

(平均1人23冊)

3・4年生は、179冊

(平均1人22冊)

5・6年生は、194冊でした。

(平均1人22冊)

いいスタートです



「おうちで過ごそう」

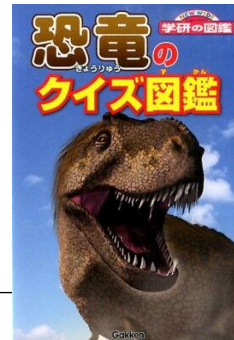
新型コロナウイルス予防対策のひとつとして、外出の自粛があります。今、家で過ごす時間がいつもより長くなるので読書をしてみてくださいね。

クイズの本もあります。

クイズ大会で

「おうち時間」を

楽しもう！



「忍耐はにがい、しかしその実はあまい。」

これは数々の伝染病の研究をし、ワクチン開発に貢献した野口英世さんの言葉です。詳しくは「コミック版世界の伝記・野口英世」を読んでみてくださいね。他にも、医学の発展に貢献した「北里柴三郎」「ナイチンゲール」「福沢諭吉」などの伝記があります。医学に関係した本を読んで、医療のお仕事をしている方を応援しよう！そして、現代も新型コロナウイルスなどの感染を防いでくださっている方々へ改めて感謝したいですね。